児童相談所関連研修「児童心理司（３～４年目）」（第２回）

| | |
|---|---|
| 【　日　時　】 | 令和3年2月18日（木）、19日（金）9：00～17：00 |
| 【　会　場　】 | 特別区職員研修所 |
| 【受講者数】 | 47名 |
| 【　講　師　】 | ・鎌倉女子大学　学術研究所　子ども発達臨床研究施設<br>　研究員　加藤　吉和　氏<br>・武蔵野大学　心理臨床センター　臨床心理士　上原　由紀　氏<br>・こころとからだ　光の花クリニック院長　白川　美也子　氏 |
| 【研修内容】 | ＜目的＞<br>　児童心理司（３～４年目職員）として求められる役割を理解すると共に、児童虐待の相談援助等に他職種・他機関と連携しながら的確に対応し、適切な治療的ケア、助言、困難事例への対応等ができる実践的能力の向上を図る。<br><br>＜内容＞<br>①　多面的アセスメント<br>②　施設入所児童の事例研究<br>③　一時保護ケースの親子関係再構築支援<br>④　子どもの治療的ケア（応用編）<br> <br>≪講義の様子≫ |
| 【受講生の声】 | ・ケースワークを進めていくうえで求められる視点や、心理としての専門的な内容まで幅広く理解できました。<br>・事例のグループワークがとても実践的で、普段の業務と照らし合わせながら考えることができました。<br>・保護にあたっての心理司の役割や保護後のケアで必要な視点など勉強になりました。質疑応答についても実際に区の児童相談所で働いている職員の生の声を聞くことができ、貴重な機会となりました。<br>・実践に直結する講義内容で、新しい視点だけでなく、これで良いのだと再認識でき、また改めて勉強し直すことができました。<br>・講師の様々な経験から講義を構成しており、とても興味深く聞くことができました。「トラウマのメガネ」をかけてケースを再度見ていきたいと思います。 |